

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム ほのぼの作成日: 令和 3 年 10 月 15 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	現在は、新型コロナウイルス感染症対策の為、書面で報告する形で実施している。新型コロナウイルス収束後には、会議の内容を見直し、ホームの運営だけでなく、認知症・グループホームの啓発や地域貢献にも繋がる会議運営を目指していく。	元家族や出入りの薬剤師、訪問歯科の歯科衛生士等、毎回でなくても色々な方が参加し、関わり得ることで会議の活性化を図っていく。また、地域の困りごとについて話し合い、解決に向けて取り組む等、地域福祉の拠点としての窓口となるよう情報が集まる会議を目指していく。	12ヶ月
2	37	災害対策	年2回訓練を実施しているが、訓練の回数を増やし、問題意識を持って取り組むことで課題を見つけ、安全な避難誘導に繋げていく。	利用者の重度化、高齢化の為、利用者が参加する訓練は難しいため、職員が利用者役となつて行う夜間想定訓練を繰り返し実施して、非常時の動き、連携を身につけていく。また、近隣住民との協力体制を築いていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。